

部活動の現状と課題

1 国が示す部活動の地域移行・地域連携について

(1) 部活動の意義と課題

部活動は、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会や多様な生徒が活躍できる場である。

一方、これまで部活動は、教師による献身的な勤務の下で成り立ってきたが、休日を含め、長時間勤務の要因であることや、指導経験のない教師にとって多大な負担であるとともに、生徒にとっては望ましい指導を受けられない場合が生じる。

持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が必要

(2) 国が示す改革の方向性

○部活動は必ずしも教師が担う必要のない業務であることを踏まえ、部活動改革の一步として、休日に教科指導を行わないことと同様に、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築する。

○部活動の指導を希望する教師は、引き続き、休日に指導を行うことができる仕組みを構築する。

○生徒の活動機会を確保するため、休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境を整備する。

(3) 国が示す改革のスケジュール等

まずは、休日の部活動の移行を目指し、国が示した令和5年度から令和7年度までの3年間の改革推進期間において、活動場所の確保や指導者の登録等を進める。達成時期は一律に設けず、市町村の実情に応じて、可能な限り早期の実現を目指す。準備ができた市町村、種目から始めていく。

2 本市における部活動の地域移行・地域連携について

令和5年度に部活動検討懇談会の設置し、学校、保護者及び地域団体代表等で、今後の部活動のあり方を含めて協議を行い、部活動の地域移行・地域連携を進める。

3 本市における部活動の現状

(1) 部活動の加入率（令和5年度）

岩倉中学校	1年 98%	2年 98%	3年 99%
南部中学校	1年 97%	2年 87%	3年 81%

部活動の地域移行・地域連携に向けた現状と構想

1 これまでの取組

- ・ 既存の部活動の健全化…R3年度から部活動全員加入制の撤廃、練習時間の短縮（朝練習廃止、土日はいずれか1日で3時間のみ、平日は4日間以内など）
- ・ 部活動サポーター（外部指導者）の配置…R4年度は2中学校で6部活7人

2 リソースとして考えられる団体及び活動

- ・ スポーツ少年団…剣道、空手、サッカー、フットサル、ソフトボール、バレーボール、卓球
ミニバスケットボール、軟式野球、バドミントン、キッズダンス
- ・ 総合型地域スポーツクラブ…ミニテニス、ラージボール、カローリング、バドミントン
ビーチボール、タスポニー
- ・ 指定管理者自主事業…キッズヒップホップ、K-POP Danse
- ・ 民間事業…スイミングスクール、クライミングジム、セントラル愛知交響楽団、ヨーヨー連盟
- ・ 文化協会…岩倉市民吹奏楽団、岩倉太鼓友の会、書道連盟、絵画協会
- ・ 市民活動…岩倉市ジュニアオーケストラ、サクラミュージカルカンパニー、山車保存会

3 当面、取り組みたいこと

- (1) 生徒の引率が単独でできる「部活動指導員」の制度を整備する。
- (2) 検討委員会を立ち上げ、以下のような具体案を出し合いながら、部活動のあり方を探る。

① 顧問と部活動指導員の連携型（ex.A中学校ソフトボール部）

月	火	水	木	金	土 or 日
休み	顧問と 部活動指導員 による指導	顧問 による 指導	休み	顧問と 部活動指導員 による指導	部活動指導員による指導 (含：練習試合等の引率)

※ 顧問と部活動指導員の合同指導日に指導方針を共有することで、(土)(日)は指導員のみ。

② 部活動とスポ少の融合型（ex.A中学校、柔道部）

月	火	水	木	金	土 or 日
休み	顧問による 中学生の 指導	スポ少コーチと 顧問による 中学生の指導	休み (スポ少指導)	顧問による 中学生の 指導	スポ少コーチか顧問による 小中学生合同の指導 月1,500円

※ 顧問もスポ少コーチも部活動指導員を兼務し、指導方針を共有して、指導日を分担。

③ 民間事業活用型（ex.市内2中学校合同、ダンス部）

月	火	水	木	金	土 or 日
休み	各学校での 自主練習 <small>教員による安全管理</small>	休み	民間指導者による キッズヒップホップ 1回500円	各学校での 自主練習 <small>教員による安全管理</small>	民間指導者による 年1～2回の発表会 若干の特別練習

※ 可能であれば、民間指導者を(火)or(金)の外部講師として依頼。

4 課題

- ・ 指導者の発掘と養成、活動場所の確保、学校外の責任主体、受益者負担に対する支援etc.